

模擬投票で学ぶ「1票の重さ」

ニュース 時事能力 検定試験

N検 NEWS

ニュース時事能力検定（ニュース検定）を主催する毎日教育総合研究所と、通信制高校「第一学院高校」を運営するウィザスは、主権者教育イベント「チャレンジレッスン 未来メーカーズ：君の一票で変えるストーリー」を開催した。毎日新聞客員編集委員で日本ニュース時事能力検定協会の与良正男理事を招き、オンライン参加も含め第一学院高校の生徒が全国から集まり、活発な議論を繰り広げた。

授業は事前の講習を経て、11日に毎日ホール（東京都千代田区）で実施された。生徒らは架空の市長選を想定した模擬選挙に挑戦。教員3人が扮し

た候補者の演説を聴く▽自分の考えをまとめる▽模擬投票▽グループで対話▽与良氏による講評▽対話を経ての再投票——の流れで、「政治参加」を体験した。

生徒らは熱のこもった演説に耳を傾け、終了後には大きな拍手を送った。グループワークでは友人の意見にメモを取る一方、自分の投票理由を友人に「伝える」ことも学んだ。

また、実際の選挙ではできない「再投票」も経験。友人や講評を聞いて「最初は子育てなど自分の身近な政策で考えたが、市に必要なのは人をどうやって流入させるかだと思った」などの意見も出て、投票先を変える生徒もいた。

授業を終えた生徒は「政治を学ぶことの大切さを感じた。18歳になったら選挙にぜひ行きたい」と、笑顔で話した。

【川西もゆら】



模擬投票後、与良正男・毎日新聞客員編集委員（右端）の講評を聞く第一学院高校の生徒ら（東京都千代田区で11日、山本夏実撮影）

検定試験、全国37都市で11月16日実施

「ニュース時事能力検定試験」のマークシート試験（1～5級）を11月16日に全国37都市で実施します。2～3級はインターネットを利用した自宅受検（IBT試験）も実施します。申し込みは8月1日から、ニュース検定公式サイト（<https://www.newskentei.jp/>）で。